

お客様 各位

平成 23 年 12 月 12 日
ジャパンシステム株式会社

ARCACLAVIS と Microsoft Office 2010 の相性によって発生する事象についてのご案内

拝啓

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび ARCACLAVIS をご利用いただいている一部の環境において下記の事象が確認されたため、ご案内申し上げます。

当事象が発生する環境に該当するお客様におかれましては、お手数では御座いますが、後述の手順にてご対応いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

【確認された事象】

- a. Microsoft Outlook 2010（以降、Outlook 2010）に添付された Microsoft Office ドキュメントのプレビューを行うと Outlook 2010 が不正終了する。
- b. メールに添付された Microsoft Office ドキュメントを開くと Microsoft Office アプリケーションが不正終了する。

【事象が発生する環境】

以下の環境で発生します。

[OS]

- ◆ Windows XP Service Pack3（32 ビット版）

※エディションにつきましては各製品の動作条件に準ずるものとします。

[アプリケーション]

- ◆ Microsoft Office 2010

※エディションを問わず発生します。

※Office 2007 以前のバージョンでは発生しません。

[製品バージョン、機能]

- ◆ ARCACLAVIS Revo V3.4 以前の LOCK または LOGIN
- ◆ ARCACLAVIS Rex V3.4 以前の LOCK または LOGIN
- ◆ ARCACLAVIS NSAS V4.1 以前

※ARCACLAVIS LOCKKey は該当しません。

【原因】

Office 2010 ではセキュリティ強化の一環として「保護されたビュー (※)」という機能が追加されています。

※保護されたビューとは

保護されたビューは、インターネットやその他の安全でない可能性のある場所にあるファイルについて開く際、サンドボックス環境を利用することでさまざまな種類のセキュリティ上の脅威からファイルを保護します。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/infopath-help/HA010355931.aspx>

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ee857087.aspx>

例)

Outlook 2010 に添付された Excel ファイルは「安全でない可能性がある」と判断され、保護されたビューにより開かれます。

調査の結果、ARCACLAVIS が独自に Windows ログオン処理を実施している環境の場合、ログオン処理におけるセキュリティ ID の指定と Microsoft Office 2010 のセキュリティ ID の扱い方により下記事象が発生することを確認いたしました。

【事象】

保護されたビューでファイルを開く際にセキュリティ ID 確認処理が正しく動作せずに Microsoft Office 2010 のアプリケーションが不正終了する。

【対処が必要となるお客様】

前述の【事象が発生する環境】に該当するお客様が対象となります。

【対処方法概要】

下記のいずれかの手段にてご対応いただけますようお願いいたします。詳細手順につきましては後述の【対処手順】をご参照ください。

- a. 保護されたビューおよび Outlook のプレビュー機能を無効にする
- b. 対応モジュールを適用する

【対処手順：保護されたビューおよび Outlook 2010 のプレビュー機能を無効にする】

1. セキュリティセンターで保護されたビューの設定を表示または変更する
<http://office.microsoft.com/ja-jp/word-help/HA010355931.aspx#BM5>
 上記リンク先の記述に従い、保護されたビューの次の設定（チェック）をオフにします。
 - ◆ インターネットから取得したファイルに対して、保護されたビューを有効にする
 - ◆ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護されたビューを有効にする
 - ◆ Outlook の添付ファイルに対して、保護されたビューを有効にする
 ※保護されたビューを無効にすることによるセキュリティ上の脅威については上記リンク先をご参照ください。

2. 添付ファイルのプレビューアーの有効と無効を切り替える
<http://office.microsoft.com/ja-jp/outlook-help/HA010355566.aspx>
 上記リンク先の記述に従い、Outlook 2010 のプレビュー機能を無効にします。

【対処手順：対応モジュールの適用】

下記より **運用環境に適した更新手順についてご検討いただき、現在お使いになっている製品バージョンをご確認の上**、弊社サポートまでご連絡いただけますようお願いいたします。
 ※製品バージョンの確認方法は後述の【バージョン確認手順】に記載しております。

◆ **ARCACLAVIS Revo/Rex**

a. **クイックインストーラに対応モジュールを組み込み、ARCACLAVIS Revo/Rex クライアントの新規セットアップ**

更新手順概要	クイックインストーラに対応モジュールを組み込み、ARCACLAVIS Revo/Rex のクライアントを新規セットアップします。
対象	ARCACLAVIS Revo/Rex (V3.4 以前) の新規インストールが必要な環境。
備考	対応モジュールおよびクイックインストーラに組み込む手順について弊社サポートから提供いたします。

b. **リモートバージョン管理機能によるモジュール更新**

更新手順概要	リモートバージョン管理機能により各クライアント PC に対応モジュールを配信します。
対象	既に ARCACLAVIS Revo/Rex がインストール済みで、リモートバージョン管理機能でのバージョンアップが可能な環境。
備考	リモートバージョン管理機能を使い対応モジュールを更新するためのアドオンリソースを弊社サポートより提供いたします。

c. **バッチファイルによるモジュール更新**

更新手順概要	各クライアント PC においてバッチファイルを実行し、モジュールの更新を実施します。
対象	既に ARCACLAVIS Revo/Rex がインストール済みで、リモートバージョン管理機能を利用せずに対応モジュールの適用が必要となる環境。
備考	弊社サポートよりモジュール更新用のバッチファイルを提供いたします。

◆ **ARCACLAVIS NSAS**

a. **バッチファイルによるモジュール更新**

更新手順概要	各クライアント PC においてバッチファイルを実行し、モジュールの更新を実施します。
備考	弊社サポートよりモジュール更新用のバッチファイルを提供いたします。

【バージョン確認手順】

各製品のバージョンは次の手順にてご確認ください。

◆ **ARCACLAVIS Revo/Rex**

ARCACLAVIS Revo/Rex V2.0/1.5 以降の場合、クライアント PC における以下のレジストリでバージョンの確認を行います。

サーバからバージョンアップモジュールを配信した場合：

キー	HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥NETTIME¥ARCACLAVIS Revo
値	VersionRV_Revo

クライアント端末で直接バージョンアップを行った場合：

キー	HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥NETTIME¥ARCACLAVIS Revo
値	Version

上記レジストリ値が未設定（=ARCACLAVIS Revo V1.9 以前）の場合は、その旨弊社サポートにご連絡ください。

◆ **ARCACLAVIS NSAS**

ARCACLAVIS NSAS の場合、クライアント PC 起動後の初期画面に表示されるバージョン番号を弊社サポートまでご連絡ください。

※初期画面に表示されているバージョン番号は、製品バージョンを一意に特定するものではありません。そのため、場合によって追加で情報取得を依頼することも御座いますことを予めご了承ください。

【お問い合わせ】

ご不明な点につきましては、ARCACLAVIS サポートデスクまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：

ジャパンシステム株式会社 ARCACLAVIS サポートデスク	
メールアドレス	: arcl-cs@japan-systems.co.jp
電話番号	: 03-5309-0211
受付時間	: 平日 9:30-12:30、13:30-17:30 (土日祝祭日、12月29日から1月4日を除く)

以上